

Logitec iPhone/iPod touch 用ホルダータイプFMトランスミッター

LAT-MPIH01

取扱説明書 V03

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、iPhone/iPod touch 用ホルダータイプ FM トランスミッター「LAT-MPIH01」の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。

本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書は、いつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

製品の特長

LAT-MPIH01 は、Apple のライセンスプログラム「Made for iPhone」および「Made for iPod」を取得した iPhone/iPod touch 用の FM トランスミッターです。

カーステレオの FM ラジオの周波数と、本体設定の送信周波数を合わせるだけで、手軽に iPhone/iPod touch のライブラリに保存した音楽をお楽しみいただけます。

■ LAT-MPIH01 は、iPod Dock コネクタを使用しています。iPod Dock コネクタからは、iPhone/iPod touch へ電源を供給します。ロングドライブでもバッテリー切れの心配をせずにお使いいただけます。

■ シガーソケットには回転式ロック機構があり、運転中の振動があってもシガープラグから抜け落ちることなく、安心してご使用いただけます。

■ フレキシブルアームにより自由自在な角度に設定できるため、使用しやすい位置で快適にご利用いただけます。またホルダーが 90° 回転可能なため、横向き使用での動画の観賞も快適に行なえます。

■ FM の送信周波数は、76.0MHz ~ 90.0MHz から 0.1MHz 刻みで設定でき、オートスキャン機能も搭載しています。混信の少ない周波数を自動または手動で選択でき、よりクリアな音質で音楽を楽しむことができます。4 つの周波数をメモリ登録できるため、混信したときでもスムーズに周波数を切り替えられます。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下のものが含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- ・ FM トランスミッターユニット本体 1 台
- ・ オーディオケーブル 1 本
- ・ 取扱説明書（保証書付） 本書

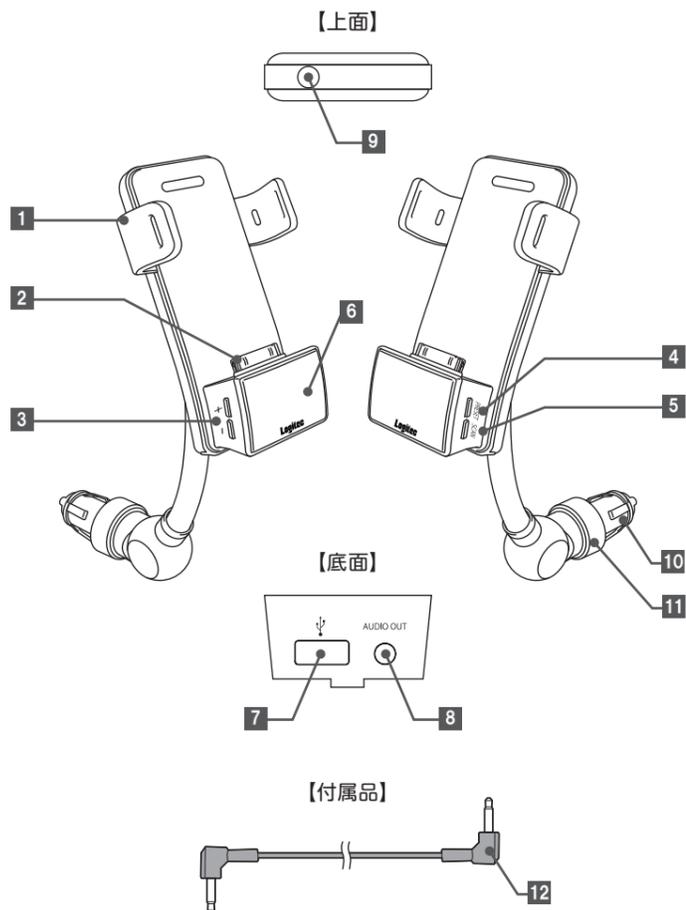
製品仕様

製品名	LAT-MPIH01	
送信周波数	76.0 ~ 90.0MHz (0.1MHz 単位による切り替え) 4 つの周波数をメモリ登録可能	
動作時環境条件	温度	0 ~ 50℃
	湿度	0% ~ 75% (ただし、結露なきこと)
入力電圧	DC+12/24V (シガーソケットより供給)	
出力電圧 / 出力電流 (最大)	5V/1A	
外形寸法	本体部	約 46×38×110mm (ホルダー/本体のみ、アーム長を除く)
	(幅×奥行×高さ)	一ム / iPhone/iPod touch 落下防止部等の突起部を除く)
	アーム長	約 90mm (可動部)
質量	約 138g (本体のみ)	
コネクタ	iPod Dock×1 USB×1 (シリーズ A、iPod Dock コネクタと併せて 5V/1A の電源供給が可能) オーディオ入力×1 (ステレオミニジャック) オーディオ出力×1 (ステレオミニジャック)	

対応 iPhone/iPod touch 一覧表 (2011 年 5 月現在)

- ・ iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G
- ・ iPod touch (1st, 2nd, 3rd, 4th)

本体各部の名称と役割



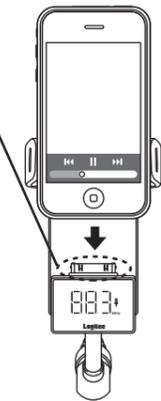
1 iPhone/iPod touch ホルダー	iPhone/iPod touch を固定します。	
2 iPod Dock コネクタ	「Made for iPhone」、 「Made for iPod」 を取得した iPod Dock コネクタです。iPhone/iPod touch を接続します。	
周波数選択ボタン	接続した機器の楽曲データをカーオーディオに送信するときの FM 周波数を選択するボタンです。周波数は 76.0 ~ 90.0MHz の範囲から 0.1MHz 単位で選択でき、4 つの周波数をメモリ登録できます。	
	1 回押したとき	押し続けたとき
3 CH ボタン (+) CH ボタン (-)	周波数を 0.1MHz 単位で変更します。	周波数を最大 (90.0MHz) 方向に早送りします。 周波数を最小 (76.0MHz) 方向に早戻しします。
4 PRESET ボタン	メモリに登録した周波数を切り替えます。出荷時には 4 つすべてのメモリに 88.3MHz が登録されています。	メモリ登録周波数を変更します。登録するチャンネルは CH + ボタン (+) または CH - ボタン (-) で選択します。
5 SCAN ボタン	ラジオ放送などの混信を避けて、最適な周波数を自動で検索します。	
6 LED ディスプレイ	現在の周波数を表示します。	
7 外部機器充電用 USB コネクタ	USB 経由での充電機能を持つ外部機器の充電用コネクタとして使用します。iPod Dock コネクタに iPhone/iPod touch を接続しているときは、このコネクタに外部機器を接続しないでください。	
8 オーディオ出力コネクタ	iPhone/iPod touch の音楽を、本製品経由で外部スピーカーなどで再生するときに使用します。付属のオーディオケーブルをスピーカーなどの入力コネクタに接続してください。	
9 オーディオ入力コネクタ	iPhone/iPod touch 以外のオーディオ機器で再生した音楽を聞くときに使用します。付属のオーディオケーブルをオーディオ機器の出力コネクタに接続してください。	
10 シガープラグ	自動車内のシガーソケット (12V または 24V) に接続します。	
11 回転式ロック機構	シガープラグをシガーソケットに挿入したあと、この機構をまわすとシガープラグをシガーソケットに固定します。本製品を取り外す時は逆方向に回します。	
12 オーディオケーブル	iPhone/iPod touch 以外のオーディオ機器を接続するときに使用します。本製品側はオーディオ入力/出力コネクタに接続してください。オーディオ機器の出力コネクタに接続してください。	

接続のしかたと基本的な使いかた

■「iPhone/iPod touch」の接続

本製品を支えながら、iPod Dock コネクタにカチッと手ごたえがあるまで「iPhone/iPod touch」を差し込みます。

iPod Dockコネクタ



■本体の角度を調節する

ホルダー部は 90° まで角度調節が可能です。またフレキシブルアームによりホルダー部を自由自在な角度に設定できるため、動画の観賞も快適に行なえます。

- 1 「iPhone/iPod touch」と本体を接続し、カチッと手ごたえがあるまで差し込みます。
- 2 車のエンジンを始動したあと、シガーソケットに本体を接続します (LED ディスプレイが点灯し、電源供給を確認できます)。抜け落ちを防ぐため、回転式ロック機構を回して十分に固定してください。
- 3 周波数選択ボタン (PRESET ボタン / CH ボタン / SCAN ボタン) で、音楽を送信する周波数を選択します (メモリボタンの操作方法については、「メモリ登録の方法」もご覧ください)。



- 4 カーオーディオを操作し、FM ラジオ受信モードに切り替え、受信の周波数を本製品の周波数と合わせます。



- 5 「iPhone/iPod touch」を操作して、音楽を再生します。カーオーディオの音量や「iPhone/iPod touch」のイコライズ設定を調整して、お好みの音楽をお楽しみください。

※iPod Dock コネクタに接続しているときは、「iPhone/iPod touch」の音量調整はできません。

! iPhone/iPod touch と外部機器を本体に同時に接続しないでください。本製品や接続した機器を破損する可能性があります。

! エンジン始動時は、本製品をシガーソケットに接続しないでください。突発的に大きな電圧がシガープラグへ発生し、本製品や接続した「iPhone/iPod touch」を破損する可能性があります。必ずエンジン始動後に本製品をシガーソケットへ接続してください。

! 音質が気になるときは...
● 再生する曲の曲調や「iPhone/iPod touch」のイコライズ設定によっては、音が歪んだり、割れたりすることがあります。このような場合、カーステレオのボリュームの調整や、「iPhone/iPod touch」の設定を変更することで、改善することがあります。
● 公共の放送局や、他の機器が発する FM 波との混信により、ノイズが発生することがあります。その際に、音楽を送受信する FM 波の周波数を変更することで、改善することがあります。

! iPhone 使用時のご注意
iPhone の仕様により、通話の音声はカーオーディオから出力されません。着信音のみが出力されます。

■本製品使用中の「iPhone/iPod touch」の電源 ON/OFF (エンジン連動機能について)

本製品は、「iPhone/iPod touch」の無駄なバッテリー消費を防ぐために、エンジンの停止に連動して「iPhone/iPod touch」の再生が一時停止するように設計されています。そのため、再度エンジンを始動した際に「iPhone/iPod touch」の音楽再生を、「iPhone/iPod touch」の本体で操作していただく必要があります。

! ● 長時間使用しない場合は、本体をシガーソケットから取り外し、「iPhone/iPod touch」を取り外して保管してください。
● 車種によっては、キーを抜いてもバッテリーから電源が供給される場合があります。このような車種で、車を離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外してください。接続したままにしておくと、バッテリー上がりの原因になります。

メモリに登録されている周波数の変更方法

本製品の出荷時には出荷時には 4 つすべてのメモリに 88.3MHz が登録されています。メモリに登録されている周波数を、お好みの周波数に変更したいときは、以下の操作を行なってメモリに登録してください。

■周波数の登録方法

- 1 登録したい周波数をあわせ、LED ディスプレイに表示します。
<1> または <2> のどちらかの方法で周波数を合わせてください。

- <1> “CH ボタン” を押して任意の周波数を設定します。
- <2> “SCAN ボタン” を押して混信を避ける周波数を自動設定します。

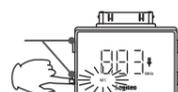


- 2 “PRESET ボタン” を、LED ディスプレイ上の「M1」が点滅するまで押し続けます。



- 3 “CH ボタン” (+/-) を押して、上書きしたいメモリ (M1 ~ M4) を選択します。

“CH ボタン” を押してメモリを選択します。



- 4 “PRESET ボタン” を押して、上書き更新します。
※ “PRESET ボタン” を押して、正常に登録されたかを確認してください。

■周波数の切り替え方法

“PRESET ボタン” を押すごとに、メモリに登録された周波数が切り替わります。

例: ▶メモリ1 (M1) ▶メモリ2 (M2) ▶メモリ3 (M3) ▶メモリ4 (M4) ◀

取り扱い上の注意

■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

警告 ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、または物的損害を負う危険性がある項目です。

●自動車の運転中に操作しないでください。

運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してから行ってください。

●万一、異常が発生したときは...

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、「iPhone/iPod」を充電中の場合は本製品をシガーソケットから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周囲の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●車の中には絶対に放置しないでください。

本製品を高温の車内に長時間放置しておく、破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。

●分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

注意 ここに記載された事項を無視すると、けがをしたり、物的損害を受ける恐れがある項目です。

●水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●シガーソケットの形状をご確認ください。

外国産車や国産車の一部には、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

●iPhone/iPod touchについては、iPhone/iPod touchの取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、「iPhone/iPod touch」と接続して使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

●日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しては一切応じかねますのでご注意ください。

本製品のお問い合わせ先

■製品に関するお問い合わせ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からのお問い合わせに対するサポートは行っておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

■お問い合わせの前に

- 本書をお読みになり、接続の状態、注意事項をもう一度ご確認ください。
- 弊社Webサイト(6409.jp)では、最新のサポート情報を公開しています。また、よくあるお問い合わせ、対応製品、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをご案内しています。お問い合わせの前にご確認ください。

問題が解決しない場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

■製品に関するお問い合わせ

サポートページ 6409.jp (“http.”は必要ありません)

テクニカルサポート (ナビダイヤル)
0570-022-022

月～土 (祝日営業) 10:00-19:00 ※夏期、年末年始、特定休業日を除く

■修理依頼先

〒396-0111 長野県伊那市美すず六道原8268
ロジテック株式会社 3番窓口 エレコムグループ修理センター
TEL:0265-74-1423 FAX:0265-74-1403

- 電話受付時間 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

- ・製品に関する技術的なお問い合わせや、修理が必要かどうかのお問合せについては、テクニカルサポートへお願いします。
- ・ロジテック株式会社製品、ロジテックINAソリューションズ株式会社製品を受け付けております。

■修理について

- 製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。
This warranty is valid only in Japan.
- 製品本体、ACアダプタを除く付属品はm保証対象ではありません。
例：イヤーフック、イヤークャップ、イヤホン、ケーブル類、スタンド、電池など
付属品問い合わせ窓口へメールにてご相談ください。
<http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html>
- 修理依頼品については、下記に示す弊社修理受付窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店にご相談ください。
- 修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理してご返却します(場合により、製品を交換させていただくこともあります)。
- 保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。
- 保証期間終了後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 修理終息製品の検索、依頼の手順、修理依頼書(PDFファイル)をインターネットへ掲載しています。ご利用が可能であればご確認をお願いします。
<http://www.logitec.co.jp/support/service.html>

修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・お送りいただく際の送料、および梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・保証期間中の場合は、ご購入年月日が確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・必ず、「お客様のご連絡先(ご住所/電話番号)」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・保証期間を越えた製品の修理については、お見積り目の必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、修理依頼品に添付してください。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。ご送付の際は、輸送中の破損がないように、緩衝材に包んでダンボール箱(本製品の梱包箱、梱包材を推奨します)等に入れてください。また、必ず発送の控えが残る宅配便でお送りください。
- ・弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- ・お送りいただく際の送付控えは、大切に保管してください。

■その他：こんなことにも注意してください

- ・本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。そのため、強い電波が出ている電波塔、トンネルやビルの間などコンクリートなどで遮断された場所、受信感度の悪いカーステレオなどは、ノイズが発生する原因となります。あらかじめご了承ください。
- ・シガーライター付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配/延長ソケットをお買い求めください。
- ・本製品はマイナスアース車専用です。プラスアース車では使用できません。
- ・衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用、保管は避けてください。
- ・本製品は精密機器です。落としたり、強い衝撃を加えないでください。
- ・温度、湿度の特に高い場所(自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど)や静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- ・車種によっては、キーを抜いてもシガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があります。ご使用のお車がこのタイプの場合、お車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。
- ・本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。
- ・シガーソケット内のゴミや汚れは、本製品の動作不安定や故障の原因となります。汚れを取り除いてから使用してください。

■車内使用時の注意

- ・本製品に直射日光が当たり、高温な環境で長時間放置されると本製品の表面温度が上昇しますので、操作の際はご注意ください。
- ・車内は高温になる場合がありますので、車内に放置しないでください。

■車載用アンテナについて

本製品は、FM トランスミッター内蔵のアンテナから FM 電波を発信し、車載用アンテナで受信して、カーステレオで再生することで音楽等の聴取を行います。したがって、FM 電波受信感度やノイズの発生に関しては、車載用アンテナの構造や設置位置が大きく影響します。

車載用アンテナには、大きく分けて次のタイプのアンテナがあります。

- ・ルーフアンテナ
屋根の前端か後端に設置され、樹脂コートされているタイプ
- ・ピラーアンテナ
A ピラーに内蔵されていて、金属製アンテナを手動で引き出すタイプ
- ・ガラスアンテナ
リアウィンドウやリアサイドウィンドウ等に貼られている、フィルム状のタイプ
- ・ロッドアンテナ
昇降装置付きで、SUV などに多く見られるタイプ

弊社で行った東京都心部における動作検証では、以下の順で受信状態が良いことが確認されています。

ロッドアンテナ > ピラーアンテナ > ルーフアンテナ

 ガラスアンテナは、車のグレードによる差が大きく、比較が困難です。また、動作検証は特定の車種で行い、本製品は運転席と助手席の間に設置しています。検証結果は、すべての自動車/走行環境での受信状態を保証するものではありません(上記は弊社調べ。自動車メーカーにより、呼称や構造は異なります)。

個人情報の取り扱いについて

ユーザー登録・修正依頼・製品に関するお問合せなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は最新の注意を払って管理いたしますので、ご安心ください。

iPhone/iPod touch 用 ホルダータイプ FM トランスミッター取扱説明書
(LAT-MPIH01 用)
2011年5月 第3版  ロジテック株式会社
©2011 LOGITEC CORPORATION All rights reserved.